

## 小高区の将来のまちづくりへの（研究会設立）提言

小高区地域協議会委員 阿部治幸

### 【提案趣旨】

南相馬市は、平成28年4月の避難指示の解除目標を掲げました。私たちは、それまでに小高区の将来のまちづくりを真剣に計画しなければならない時期であると考えていますが、現在の南相馬市は、小高区の中心市街地の整備計画は検討しているものの、私たちが理解しやすい全体的なまちづくりが見えない状況だと思います。

このため、私は、小高区の歴史、風土や地域資源を活用したまちづくりを避難中の小高区民との意見交換等を踏まえ、市（地域協議会）とは別な視点から、検討していきたいと考えています。

### 【提案内容】

私は、小高区の将来のまちづくりについて、だれでも前向きで自由な意見等が飛び交い、併せて専門知識を有する方の助言をいただき検討するための組織（研究会）設立を提案します。

### 【組織・運営】

参加者は、自由に参画できるものといたしますが、当初は、小人数で方向性・進め方を協議し、順次規模を拡大していきたいと考えています。

また、検討した内容については、隨時、地域協議会に報告します。

参加者は、原則、ボランティアとして参加する計画といたしますが、大学等の専門家に対し交通費、宿泊費、その他の実費は小高区地域協議会及び南相馬市で予算化のうえ対応していただきたいと考えています。

別紙にて予算計画を添付いたします。

### 【運営期間】

協議・検討する期間は、平成27年3月31日までといたします。ただし、必要と認める場合は、帰還目標の平成28年3月31日まで継続することができたらと思います。

\*現在の小高区中心市街地整備計画は除外して検討する。

\*専門家 窪田東大特任教授、復興庁松本参事官等を予定。